

(別紙2)

## 令和3年度学業報告(実績)

(令和4年3月現在)

奨学金支給者	今年度における研究活動等
リー タリン (35回生)	メダカを用いた低線量(率)慢性被ばくにおける全身性応答の研究を行った
リン チアリン (35回生)	シングルセルゲノム解析方法「SAG-gel」を使って、海水中のウイルスゲノム情報を獲得するための実験を行った。
シン イ (35回生)	日本茶の加工条件と機能特性の関係を調べるための実験、研究を行った。
田中 美帆 (35回生)	彫刻、3Dモデリング、テラコッタ、写真、新しい彫刻の技術の5コースを受講。彫刻では、大理石とプロジェクターによる映像投影を使った作品を制作し発表した。現在は、野外の展示する作品の制作に取組中である。
キチ シンゲン (36回生)	原猿類における味覚受容体と嗅覚受容体の遺伝子レパートリーを解明するための実験、研究を行った。
ソ ジケイ (36回生)	和歌、歌合せ、勅撰和歌集の定義について研究し、また拾遺和歌集の選歌基準と天徳内裏歌合会とのかかわりについて研究した。
リサワラタナグン スメテイ (36回生)	ヤムイモ(Dioscorea spp.)栽培における植物生育促進細菌(PGPB)を利用したバイオ肥料の開発を行った。
サイ エイ (36回生)	東アジアの越境大気汚染エアロゾルに及ぼすモンスーンの影響に関する観測的研究を行った。
アトレー シュレヤス シュリカント (36回生)	法務省推奨のモデル履修に則って、授業を履修するとともに、青年法律家協会や憲法研究会に参加し、弁護士や裁判官、他の修習生と情報交換や意見交換を行った。